

学校教育目標 「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



常盤のみどり

第468号 令和4年 9月30日(金)

さいたま市立常盤中学校

〒330-0075

さいたま市浦和区針ヶ谷4-1-9

TEL 048-831-3189

FAX 048-830-1561

E-mail:tokiwa-j@saitama-city.ed.jp



スロープのプランター内で彩りよく咲くペゴニア。その葉がちょっとくずれたハートの形から、花言葉は片思い、幸福な日々など。

SINCE 1947

秋を楽しむ



校長 渡邊 祐子

9月、コロナ禍以来、初めて、計画通りの宿泊学習修学旅行が実施できました。また、2年生の職業体験学習や、1年生の川越校外学習も予定通りに行えました。全ての学年で、学校を離れた場での貴重な体験から、いつもとは違った学びを得た今学期のスタートです。

保護者の皆様には準備の段階から、地域の皆様には生徒の受け入れと、大変お世話になりました。ありがとうございます。

9月14日、私も学校を離れ、体育祭で撮影したパネル写真と生徒たちのメッセージをもって、佐野市立常盤中学校を訪問してきました。写真は6月の交流会終了時にドローンで撮影したもので、熱い戦いの後の両校の生徒・職員のさわやかな姿が、校舎を背景に、皆とても自由に映っています。(本校の事務室前廊下に同じものが掲示してあります。ご覧ください。)

当日は、1時間半の車移動を経て佐野常盤中に到着しました。青く澄み渡る空、緑の山々と田畑に囲まれたその地はまさに、山は青き、水は清き、ふるさとのようなところでした。校内では、佐野の皆さんがサプライズの歓迎会を催してくださり、生き生き堂々と活動する佐野常盤中生の様子に再会の喜びをかみしめました。そして温かなおもてなしに大感激しました。もちろん、持参した写真やメッセージも喜んでいただき、伺ってよかったと感動した旅でした。

ところで、私たちは、様々な集団や社会と関わりながら日々、過ごしています。自分自身について考えたり、新しい挑戦をしたり、困難を乗り越えたりするときなど、あらゆる場面において、他者とのつながりから影響を受け、助け合いながら生きています。

ここ数年、コロナ禍ということもあり、人とのつながりを極力抑えてきた私たちでしたが、冒頭の校外での体験からもお分かりのとおり、新たなつながりは新たな発見や収穫を与えてくれます。豊かな生活を送るためには多様な他者とのつながりが欠かせません。

そこで、感染防止対策を万全にし、ときに外へ一歩踏み出し、いつもとは違った空間で、いつもとは違った人とのつながりを味わってみてはいかがでしょうか。そんな季節の訪れです。